

(様式例第8)

出総医第2089号
平成26年1月14日

都道府県知事 殿

開設者名 出水市長 渋谷 俊彦



地域医療支援病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

1 紹介患者への医療提供及び他院への患者紹介の実績

地域医療支援病院紹介率	50.7%	算定期間	平成24年4月1日 ～平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	3,373人	
	B: 救急患者の数	860人	
	C: 初診患者の総数	8,346人	

他の病院又は診療所に紹介した患者の数	5,535人 (2,558人)
--------------------	--------------------

(注1) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、A、Bの和をCで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(注2) 地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあっては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること。

(注3) 他の病院又は診療所に紹介した患者の数については、括弧内に、「A: 紹介患者の数」のうち、他の病院又は診療所に紹介した患者の数を併せて記入すること。

2 共同利用の実績(様式例第9)

3 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	1, 667人 (779人)
上記以外の救急患者の数	3, 506人 (453人)
合計	5, 173人 (1, 252人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績 (様式例第5)

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 (様式例第6)

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
(様式例第10)

7 委員会の開催の実績 (様式例第11)

8 患者相談の実績 (様式例第12)

(様式例第9)

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）の実績

1 共同利用の実績

CT/MRI等紹介数（共同利用の実績）：合計 1,613件					
CT	633件	冠動脈CT	72件	MRI	746件
RI	97件	心筋シンチ	32件	その他	33件
医療機関延べ数 1,613件					
うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数 1,606件					
・リニアック（共同利用の実績）：合計 46件（実人数、1件につき10～33回の照射）					
医療機関延べ数 46件					
うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数 46件					
・高気圧酸素治療紹介数（共同利用の実績）：合計18件					
医療機関延べ数 18件					
うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数 18件					
・平成24年度の開放型病床の共同利用数：合計2件					
なお、診療報酬上の共同指導料は算定していないが、随時3～4名の地域医療機関の医師が紹介患者について定期的に当院の病棟・病室を訪問し、病状把握、治療方針について当院主治医と情報共有					

注）当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

2 共同利用の範囲

建 物	病棟の病床施設、中央手術室、血管造影室、内視鏡室、人工透析室、化学療法室、講堂、講義室、図書室
設 備	中央手術室の全設備、アンギオ装置を含む血管造影室の全設備、MRI、CT(64列)、RI、リニアック、高気圧酸素治療装置、臨床検査科各検査機器等
器械又は器具	上記建物・設備に付随する各種機器、超音波診断装置、持続緩除式血液濾過透析装置、腹水濾過濃縮用装置、トレッドミル装置、オージオメーター等

注）当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

3 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
東医院	東 保徳	出水市六月田町360	内・外・整外・ 肛・胃腸・リ ハ	なし
つかさとクリニック	塚里 孝和	出水市下知識町1518-1	内・神内・呼 吸・消化	なし
市川医院	市川 昭則	出水市緑町43-41	耳鼻咽喉・気 管食道	なし
広瀬産婦人科医院	広瀬 正典	出水市昭和町15-20	産婦・内	なし
吉田耳鼻咽喉科 医院	吉田 重彦	出水市本町3-5	耳鼻咽喉	なし
二宮医院	二宮 信幸	出水市本町4-45	小児・内	なし
福永内科循環器 科	福永 秀哲	出水市向江町13-28	循環・内	なし
キッズクリニッ ク	四位 昭人	出水市向江町19-24	小児・内	なし
しもそのクリニ ック	下園 勇人	出水市五万石町802	内・放・外・ 糖尿・麻・リ ハ	なし
平田整形外科ク リニック	平田 健作	出水市上知識町856	整外・リハ・ リウマチ・麻 酔	なし
楠元内科医院	楠元 孝幸	出水市平和町2-2-4	循環・胃・腸・ 心療内	なし
よう皮ふ科医院	葉 著寿	出水市平和町133-1	皮膚	なし
恒吉医院	恒吉 礼三	高尾野町柴引1515	内・消化	なし
有村産婦人科・内 科	有村 徹	阿久根市栄町127-3	産婦・内・小 児・皮膚	なし
上園医院	上園 孝	阿久根市本町152	外・小児・消 化・胃	なし
北国医院	北国 敏	阿久根市本町184	外・消化・整 外・小児	なし
林胃腸科外科	林 千城	阿久根市大丸町86	内・胃腸・リ ハ・外	なし
鶴見医院	高野 卓二	阿久根市鶴見町119	内・呼吸・消 化・循環・リ ハ	なし

長島町国民健康 保険鷹巣診療所	長島町国保	長島町鷹巣1814	外・内	なし
飯尾医院	飯尾 一成	長島町城川内88	内・外・産婦	なし
長島クリニック	田畑 富士男	長島町指江82-13	外・内・胃腸・ 小児	なし
平尾診療所	長島町国保	長島町平尾134	内・小児	なし
境田医院	境田 通泰	出水市米ノ津町35-20	産婦・内・肛・ 外	なし
おかだクリニック	岡田 富志	出水市昭和町45-1	内・消化	なし
来仙医院	来仙 隆洋	出水市野田町下名6956	内・外・小児	なし
ばばぐちクリニ ック	馬場口 泰宏	出水市六月田町711	整形	なし
福元医院	福元 修	出水市米ノ津町3-30	内・循環	なし
林泌尿器科クリ ニック	林 豊秀	出水市明神町2355	泌尿器科・性 病科・内	なし
三慶医院	新富 義侯	出水市上鯖淵1966	内科・循環	なし

注) 当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	6 床
--------------	-----

(様式例第5)

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

<p>1 研修会の内容</p> <p>(1) 地域連携パスに関連する研修会</p> <p>①平成24年度 出水地域脳卒中連携ネットワーク研究会 この研究会は出水地域（出水、阿久根、長島）の脳卒中診療急性期・回復期・維持期において、施設間連携により情報共有し、地域完結型診療システムを構築するために、年3回の研究会を開催している。 ※阿久根市民病院との交互開催であり、平成24年度は当院で1回開催となった。 開催日 平成24年7月13日 阿久根市民病院にての開催 平成24年12月6日 参加者（88名） 平成25年3月29日 阿久根市民病院にての開催</p> <p>②平成24年度 出水地区緩和ケア講演会 ～在宅緩和ケアにおける地域連携～ 開催日 平成24年4月18日参加者合計（80名）</p> <p>(2) 水曜勉強会（毎週水曜日、研修会開催）〔別紙にて研修内容報告〕 平成24年度は45回開催（参加者延べ人数：2,791人）</p> <p>2 地域医療機関との合同カンファレンス 月1回 開催（三水会） 参加者数（150名）</p> <p>3 NSTの研修施設として年3回（7月、11月、3月）、1回40時間の研修を5つの医療施設から受け入れ 受入総数（12名）</p>

2 研修の実績

研修者数	2,986人
------	--------

(注) 前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- (1) 研修プログラムの有無 有 ・ 無
- (2) 研修委員会設置の有無 有 ・ 無
- (3) 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
瀬戸 弘	医師	脳神経外科	院長	31年	*教育プログラム責任者 第5回 九州ブロック医師臨床研修指導医養成ワークショップ
吉井 博	医師	総合内科	副院長	23年	第71回新臨床研修指導医養成講習会

花田 法久	医師	外科	副院長	25年	*研修実施責任者 *教育プログラム副責任者 第69回 新臨床研修指導医養成講習会
嵯山 敏男	医師	消化器内科	副院長	23年	鹿児島県主催第3回臨床研修指導医養成講習会
竹下 次郎	医師	麻酔科	外科系 診療部長	35年	第71回 新臨床研修指導医養成講習会
二宮 正	医師	総合内科	内科系 診療部長	24年	第11回 熊本大学医学部附属病院群 臨床研修指導医研修ワークショップ
中沢 不二雄	医師	整形外科	科部長	21年	第7回 九州ブロック医師臨床研修 指導医養成ワークショップ
楠元 孝明	医師	循環器内科	科部長	10年	第84回 臨床研修指導医養成講習会
和田 昭宏	医師	小児科	科部長	14年	第10回 熊本大学医学部附属病院群 臨床研修指導医研修ワークショップ
岡村 茂樹	医師	外科	科部長	11年	第11回 熊本大学医学部附属病院群 臨床研修指導医研修ワークショップ
川田 康誠	医師	外科	医長	9年	第12回 熊本大学医学部附属病院群 臨床研修指導医研修ワークショップ
徳田 真弓	看護師	看護部	看護部長	33年	日本看護協会セカンドレベル研修終了
中村千鶴子	薬剤師	診療技術部	診療技術部長	37年	日本医療薬学会認定指導薬剤師 日本臨床薬理学会認定指導薬剤師

注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
医 局	180㎡	(主な設備) パソコン、インターネット接続、プリンター、 スキャナー、シャーカステン、机、椅子
講 堂	216㎡	(主な設備) スクリーン、音響、マイク、プロジェクター、 インターネット接続、シャーカステン、ホワイト ボード、机、椅子
講 義 室	55㎡	(主な設備) スクリーン、プロジェクター、ビデオ装置、シ ャーカステン、ホワイトボード、机、椅子

(様式例第5)

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することを証する書類の別紙

平成24年度 水曜勉強会実績

月	日	演題	講師名(敬称略)
4月	4	救急外来症例検討会	花田法久・吉井博・他
	11	医療安全研修 安全な輸血療法について(1回目)	鹿児島赤十字血液センター
	18	緩和ケア研修会 (18:30~19:30) 第3回 出水・阿久根・長島地区緩和ケア研究会	
5月	9	医療安全研修 安全な輸血療法について(2回目)	鹿児島赤十字血液センター
	16	禁煙支援と禁煙補助薬について	(株)ファイザー 学術担当
	30	教育講演 「過敏性腸症候群」	寄山 敏男 (消化器疾患センター長)
6月	6	救急外来症例検討会	花田 法久・吉井 博・他
	13	教育講演 「不整脈患者をどう診るか」	福岡大学医学部 心臓・血管内科学准教授 小川 正浩
	20	BLS (一次救命処置) について	救急外来スタッフ
	27	初期臨床研修 (地域医療) 報告	甲斐 翔太朗 (北九州市立医療センター) 和田 伊織 (九州大学病院)
7月	4	教育講演 「超音波内視鏡及びその関連手技について」	田ノ上 史郎
	11	教育講演「CKD (慢性腎臓病) について」	米良 久美子
	18	接遇研修	出水市役所 福泉
	25	リハビリや介護の手助けをする 自立動作支援口 ポット「ロケットHAL」について	(株)大和ハウス工業 土井 眞
8月	2	救急外来症例検討会	花田 法久・吉井 博・他
	//	初期臨床研修 (地域医療) 報告	安成 大輔 (九州大学病院)
	8	教育講演「小児の診かた」 ~小児患者の救急外来での診療のポイント~	和田 昭宏
	22	「中国での青年海外協力隊活動」	リハビリテーション技術科 永山 俊介
	30	高気圧酸素療法について	臨床工学科 橋本 誠士
	//	初期臨床研修 (地域医療) 報告	伊藤 森 (福岡県済生会八幡総合病院)
9月	5	臨床倫理検討会(4病棟 症例)	4病棟
	12	「VAC (陰圧閉鎖) 療法の基礎と応用」 「モデル使用によるデモンストレーション実施」	褥瘡対策全体研修(株)ケーシーアイ
	19	HIV拠点病院研修「HIV感染症の現状」	猪狩 洋介 (福岡大学 血液内科)
	27	初期臨床研修 (地域医療) 報告	佐原 範之 (九州大学病院)
	//	救急外来症例検討会	花田 法久・吉井 博・他
10月	3	クリニカルパス発表大会 「パス使用状況報告・醫生検パス紹介」	3病棟

月	日	演題	講師名(敬称略)
	〃	クリニカルパス発表大会 「ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)のクリニカルパス」	4病棟
	10	院内学術発表会 「小児の点滴固定法の比較検討～おてては大丈夫?」	3病棟、座長 和田 昭宏
	〃	院内学術発表会 「胃生検 新旧分類でのgroup2の追跡」	臨床検査科、座長 寄山 敏男
	〃	院内学術発表会 「週間薬カレンダーを用いた内服管理は回復期病棟において有効性があるといえるのか～安全な与薬を第一に考えて～」	6病棟、座長 國徳 尚子
	〃	院内学術発表会 「当院での嚥下造影検査について」	リハビリテーション技術科、座長 花田 法久
	19	市民公開講演会(18:30～20:30) 「高齢化社会におけるリハビリテーションの重要性」	金城大学学長 奈良 勲
	24	教育講演 「電子カルテ導入と医療ICT活用のポイント」	鹿児島大学大学院 医療システム情報学 准教授 宇都 由美子
11月	1	TQMキックオフ大会	
	〃	初期臨床研修(地域医療)報告	秋本 竜也(九州大学病院)
	7	特別講演「患者様の立場に立った医療」 ～患者様目線での医療のあり方～	フリーアナウンサー・大野城まどかびあ館長 林田 スマ
	21	医療安全研修 ヒアリハット報告	淵上 淳子 医療安全管理室長
	〃	医療安全研修 「医療安全情報」に学ぶ医薬品安全管理	中村 千鶴子 診療技術部長
	〃	医療安全研修 医療機器のヒアリハットの現状	塩山 貴志
	28	特別講演 「医療安全管理の基本的知識と最近の動向について」～医療の質の向上と患者の安全の確保～	熊本大学医学部附属病院 医療の質管理センター 副センター長 菊池 健
	29	初期臨床研修(地域医療)報告	内野 馨博(済生会八幡総合病院)
12月	5	病理症例検討会 CPC「生検では診断が困難であった胃癌症例」	
	〃	特別講演 「胃生検病理診断の難しさ・がんとマクロファージ」	熊本大学 菰原 義弘
	12	災害派遣医療チーム「DMAT」研修報告	花田 法久
	19	看護過程発表「易感染患者の周術期看護」 ～術前・術後の関わりで学んだこと～	中央手術室 中野 幸治
	〃	看護過程発表 「母の自宅介護を希望する息子との関わりから学	3病棟 森口 和代
	27	救急外来症例検討会	花田 法久・吉井 博・他
	〃	初期臨床研修「地域医療」報告	酒井 健一郎(北九州市立医療センター)
1月	9	「摂食回復支援食 あい〜と」について	(株)イーエヌ大塚製薬 学術担当
	16	医療ガスの安全管理研修	(株)クロックス 澤井
	23	緩和研修	吉本 理加
	30	ファーストレベル研修報告	戸崎 明美
	〃	初期臨床研修「地域医療」報告	武 信肇(北九州市立医療センター)
2月	6	TQM発表大会	救急外来、リハビリテーション技術科

月	日	演題	講師名(敬称略)
	13	感染関連研修	感染対策委員会
	20	クリニカルパス発表大会 5病棟「脳卒中地域連携パス 統計報告」 6病棟「回復期病棟転院パスの作成にあたって」	5病棟、6病棟
	27	救急外来症例検討会	花田 法久・吉井 博・他
	〃	初期臨床研修「地域医療」報告	伊藤 森(済生会八幡総合病院)
3月	13	「緊急被ばく医療基礎講座」を受講して	花田 法久
	27	口腔ケアの研修を終えて	遠竹 真理

(様式例第6)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 瀬戸 弘
管理担当者氏名	診療情報管理室長 和田 昭宏

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要 約		診療録 電子カルテ カルテ庫 診療録以外 各事務所管部署	1患者1ID番号
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	救急外来	
	地域の医療従事者の資質 の向上を図るための研修 の実績	経営企画課	
	閲覧実績	経営企画課	
	紹介患者に対する医療提 挙及び他の病院又は診療 所に対する患者紹介の実 績の数を明らかにする帳 簿	地域医療連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第 10)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	出水市病院事業管理者 永田 四郎
閲覧担当者氏名	経営企画課 総務係長 餅原 秀夫
閲覧の求めに応じる場所	経営企画課

前年度の総閲覧件数	0件	
閲覧者名	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(注) 閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。

(様式例第11)

委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1 回
委員会における議論の概要	
<p>概要</p> <p>開催日時：平成24年2月4日</p> <p>報告</p> <p>現況報告について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地域医療支援病院紹介・逆紹介率の推移・ 紹介先、紹介元医療機関・ 開放型病床登録医の登録状況・ 高額医療機器共同利用の実績・ 救急患者取扱件数・ 研修実績・ 認知症疾患医療センターへの検査体制の協力 <p>委員からの要望、提案事項</p> <p>当院が地域医療支援病院としての役割を果たすにはどうすれば良いか、また、地域に いかに支援できるのか等について意見交換。 開放型病床はいかにメリットがあるのか、アピールしていくことが必要。</p>	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第12)

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・ その他 (地域医療連携室内相談室)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	社会福祉士 看護師 医事課職員
患者相談件数	2, 4 3 5 件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none">・ 退院支援に係る相談・ 介護保険サービスに係る相談・ がん相談・ 身体障害者手帳に係る相談・ 経済・医療費・生活保護に係る相談・ 障害年金に係る相談・ 高齢福祉、福祉サービス、福祉機器に係る相談・ 住環境整備に係る相談	
対応内容	
<ul style="list-style-type: none">・ 転院、退院に向けて、家族面談を行い、医療機関、退院後の施設等の情報提供、および転院先医療機関、施設との調整・ 医療従事者および患者・家族の依頼により、面談を行い、社会保障制度の説明や手続き方法の指導、関係医療機関、施設との調整・ がん治療に関する治療相談、医療費相談・ セカンドオピニオンに関する問い合わせ・ 身障手帳作成手続き方法の説明・ 亜急性期病室、回復期病室入棟に関する説明・ 医療費支払い、高額医療、生活保護、傷病手当、補装具還付に関する手続き方法の指導、説明・ 障害年金の申請・手続き方法の指導、申立書記入指導、医師へ診断書作成依頼・ 吸引器、おむつ支給、給食サービス、車椅子レンタル等の説明、手続き方法の指導・ 住宅改修、家屋訪問、退院後訪問指導	

注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。